

令和3年度後期試験 解答例 (1枚中 1枚目)

(注意) 1. 専攻・学番・氏名を必ず記入する。

2. 答案は、成否にかかわらず持ち出してはならない。

神戸大学医学部保健学科

授業科目	公衆衛生学	担当教員	中澤 港	試験日	令和4年1月31日(月)4時限
専攻	看護学専攻	学番		氏名	
					採点

問1 (30問×2点) ※漢字の誤りは△とします

(1) 健康	(2) 国際疾病分類 (ICD)	(3) 自然実験 *自然研究△	(4) 死因別死亡割合 (PMR)	(5) 標準化死亡比 (SMR)
(6) 3	(7) 患者調査	(8) 医療法	(9) 全国がん登録	(10) GAVI アライアンス *GAVIでも○
(11) 良質	(12) 適切	(13) 地域保健法	(14) 保健所	(15) 地域包括ケアシステム *地域包括ケアでも○
(16) 老人保健法 *「法」がなくても○	(17) 産後ケア	(18) ゼロ次 *環境整備なので	(19) 栄養機能食品 *保健機能食品は△	(20) 賞味 *何故か「消味」と書いた人が多数。△
(21) 自然毒中毒 または 毒キノコ(による中毒)	(22) 労働基準法 *「法」がなくても○	(23) 特定技能	(24) 措置入院	(25) 麻しん(講義で使ったデータが古く不適切問題→風しん○)
(26) 7	(27) B型肝炎	(28) 50	(29) 四日市喘息	(30) 循環型社会形成推進基本法

問2. (10問×2点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
c	b	C	d	e	a	d	d	d	A

(3)は10万人の集団を考えると患者10人のうち陽性は7人、残り99990人で陽性になるのは約10人なので7/17

(4)男性の罹患は前立腺がんが最多 (5)評価療養は公費医療とは異なる枠組み

(6)フロン規制はモントリオール議定書、PIC条約は有害物質輸出の際の輸入国政府の意思確認義務付け

問3. (20点:採点基準は、説得力があることが第一です。ただし事実認識の明らかな誤りは減点します)

[1] 臨床試験参加者が割り付けを遵守しなかった場合でも割り付け通りに解析することで、結果が保守的になる

[2] そもそも既に指定感染症ではなく新型インフルエンザ等感染症なので、感染症法上の区分を変えなくても特措法の運用で保健所の負荷は減らせるし、都道府県が必要ないと判断すれば入院や隔離は義務ではないために5類にするメリットは皆無であるが、仮に5類にしてしまうと、強毒性のvariantが発生しても隔離や検疫などの行動制限を課すことが法的にできなくなってしまうこと、接触追跡をする根拠がなくなるので感染拡大に歯止めが掛からなくなること、感染者数把握ができなくなるのでIHR2005の枠組み違反になることに加え、公費医療の枠から外れるので検査も治療も通常の保険診療になってしまい、新薬で治療すると莫大な医療費を自費負担する必要が生じることで、医療の公平性が損なわれる点が最大の問題である。

[3] 自己選択バイアス、健康労働者効果、など適切な選択バイアスの例が挙げられ、説明が正しければOK

[4] 施設、医薬品、医療従事者といった医療資源の整備やインフラが十分でなくアクセスが確保されない場合

